

第10回スクリーニング学研究会企業セミナーのご案内

2019年11月22日（金）開催の第10回のスクリーニング学研究会（タワーホール船堀）にて、下記の通り企業セミナーを開催致します。聴講には事前申し込みが必要となります。9月1日よりスクリーニング学研究会HPから登録が開始となりますので、是非ご参加ください。

本年は、前日の11月21日（木）に弊社解析ソフトウェア、CellPathfinderのハンズオントレーニングも開催いたします。こちらも、併せてご参加ください。

日程：2019年11月22日（金）

演題1：ヒトiPS心筋の心毒性・機能障害評価におけるタイムラプス画像の活用

東京大学大学院 薬学系研究科
馬場敦 先生
澤田光平 先生

近年、ヒトiPS細胞由来心筋細胞がヒトにおける心毒性・機能評価の現場で使用されるようになり、1)無染色標本（明視野）での観察による収縮評価、2)電気生理、3)細胞内Ca²⁺、4)構造の変化など、in vitro同一標本からマルチリードアウトを得ることの重要性が増している。我々は各種培養基材を用い、これら複数のバイオマーカーを計測可能な種々の実験系の構築を試みている。今回は共焦点定量イメージサイトメーターCQ1を用い取得した画像を中心に、実験例を紹介する。

演題2：1細胞解析ソリューション バイオイメージングと1細胞解析をつなぐ シングルセルマニピュレータ（試作機）のご紹介【参考出展】

横河電機株式会社 ライフイノベーション事業本部
梶田昌裕

近年、1細胞の特性を個別に明らかにする1細胞解析が精力的にすすめられ、次々と目覚ましい結果が得られています。弊社のシングルセルマニピュレータ（試作機）は、共焦点顕微鏡技術との連携により、細胞の形態情報や位置情報を保持したまま、1細胞を単離することや1細胞の細胞質を吸引することができます。さらに、サンプリングされた細胞や細胞質は、遺伝子解析や質量分析することができるため、1細胞解析だけでなく、細胞間のコミュニケーションやネットワークを理解することを可能にします。本セミナーでは、マウスES細胞の1細胞遺伝子解析結果について報告すると共に、弊社の1細胞解析ソリューションの取り組みについて紹介します。

新製品紹介

スタッカ付き自動ハイコンテンツスクリーニングシステム

CQ1を用いた小規模～中規模のスクリーニングシステムです。高速スクリーニングから、多サンプルのライブスクリーニング、3Dスクリーニングまで、さまざまなシーンで活躍します。

Uniformizer

ライブセルイメージングのデファクトスタンダードとしてご愛顧頂いております。CSU-W1/SoRaの照明をフラットにする新しいオプションです。つなぎ目のないタイリング撮影による広い視野を実現します。

日程：2019年11月21日（木）

CellPathfinderハンズオントレーニング

年々、新機能を追加し、よりパワフルに、より使いやすくなった、ハイコンテンツ解析ソフトウェアCellPathfinderのハンズオントレーニングを開催します。アルゴリズム作成の勘所の解説や、数名に1台のPCを準備し、皆様に実際に操作していただく形を予定しております。既にお使いのユーザー様のみならず、導入を検討されているお客様、ちょっと使ってみてみたいという皆様にも、参加していただけるように考えておりますので、この機会に、是非ご参加ください。

お問い合わせ先：

横河電機株式会社ライフイノベーション事業本部

バイオソリューションセンター

TEL：(076) 258-7028

E-mail：CSU@CSV.yokogawa.co.jp

YOKOGAWA ◆ Co-innovating tomorrow™